

瞳が緑に染まる、ぎふ。



インターネットでの情報提供	
提供予定日	9月10日

平成21年9月9日 県政記者クラブ配布資料		
担当課	担当者	電話番号
(財)岐阜県産業経済振興センター	川本 敏	058-277-1081
美濃和紙ブランド協同組合 美濃和紙産地プロジェクト代表	鷺見 恵史	0575-33-0008

デザインセンターオリベ想創塾事業・美濃和紙産地プロジェクト(かみみのプロジェクト) ～新商品発表会「美濃から生まれた紙の道具展・かみみの」開催のご案内～

県及び県産業経済振興センター・デザインセンターにおいては、県内の地場産品の振興のため、地元メーカーとデザイナー等との連携を通じて新たな商品開発や販路開拓を行う「オリベ想創塾」事業を行っています。

このたび、平成20年度の同事業において商品開発支援を行った産地ブランド化プロジェクトのうち、第一弾として「美濃和紙産地プロジェクト(通称:かみみのプロジェクト)」の新商品が完成し、本日より都内で展示発表する運びとなりましたのでご案内します。

記

1 新商品発表会の概要

- (1) 名称 美濃から生まれた紙の道具展・かみみの
- (2) 会期 平成21年9月9日(水)～13日(日) 12時～20時
- (3) 会場 ギャラリー「神楽坂フラスコ」
(東京都新宿区神楽坂6-16 TEL03-3260-9055)
- (4) 発表商品(詳細は別添商品カタログ参照)
 - 3タイプ15種類の紙
質感や手触りの違う3タイプの紙を、それぞれ、生成り(染めていないもの)と美濃の美しい四季をイメージした4色、合計15種類開発。
 - 14種類の紙の道具
上記15種類の紙を用い、紙袋、傘、キャンドル、ぼち袋、レターセット、紙風船など、美濃和紙の風合いを活かした日用品を開発。
- (5) 発表商品の販売
発表会后、次の方法で販売を開始。
 - ①インターネット上での販売(9月にサイトを立ち上げ、年内にも販売開始)
 - ②都内のセレクトショップ、デザインショップでの販売(年内にも販売開始)
 - ③プロジェクト参加各社の既存販売ルートを活用

2 美濃和紙産地プロジェクト（かみみのプロジェクト）について

（1）概要

- ・「美濃」の自然の中で進化してきた紙の技術を活かし、現代の暮らしにあった「紙」と「紙の道具」を長期的な視野で提案していくことを目的に、消費者の“みのまわり”にある様々な道具を開発するプロジェクト。
- ・美濃和紙ブランド協同組合に所属する有志企業5社が、県産業経済振興センター・デザインセンターが実施する実践的な商品開発支援事業「オリベ想創塾」への参加を通じて組織化。
- ・参加各社を担当する女性デザイナーと協働し開発を実施。

（2）参加者

①メーカー

MOLZA(株) (関市)、古川紙工(株) (美濃市)、(株)紙ING(美濃市)
(有)安藤商店(岐阜市)、(株)林工芸(岐阜市)

②デザイナー

粟辻デザイン (粟辻美早・粟辻麻喜)、柏木江里子、のぐちようこ、磯野梨影、小野里奈

※美濃和紙ブランド協同組合

(概要) 「美濃和紙」産地を形成する手漉和紙、機械漉和紙、和紙製品を製造している三者が一体となり、豊かな暮らしと環境保全に寄与すべく、伝統と革新技術を追求しながら、ニーズに対応できる和紙産地を目指している。「美濃和紙」の商標権利者。

(組合員) 手漉和紙の職人や工房、機械漉和紙メーカー、和紙製品メーカー全34社

(設立) 平成19年8月20日

3 今後の産地プロジェクトの新商品発表予定

（1）つけち木工産地プロジェクト

会期：平成21年10月30日（金）～11月3日（火） <予定>

会場：東京ミッドタウン内のインテリアライフスタイルショップ「The Cover Nippon」
(東京都港区9-7-3 東京ミッドタウン ガレリア3F E-0305)

商品：木曾五木（あすなる、サワラ、ヒノキ、ねずこ、高野槇）を使った男の台所道具
米びつ、ワインクーラー、トレイ、調味料入れ、箸置きなど

（2）飛騨春慶産地プロジェクト

会期：平成21年12月27日（日）～平成22年2月22日（月） <予定>

会場：銀座松屋百貨店デザインギャラリー

(東京都中央区銀座3丁目6-1 銀座松屋百貨店7F)

商品：日本文化の基本的しつらえ「汁椀」「お箸」「お盆」を飛騨春慶で製作し、美濃焼の「飯茶碗」を見立てたセット商品。

4 県の地場産品開発支援事業について

(1) 「オリベ想創塾」事業

①目的

- ・実践的なデザイン商品開発を通じて、地場産品のブランド育成と企業内の人材育成を支援。

②概要

- ・県内各企業及び産地グループと、県産業経済振興センター・デザインセンターがプロジェクトチームを結成し、プロジェクトの目的を設定したうえで、専門家（プランナー・デザイナー）がサポートに加わり、約6～9ヶ月にわたる「商品開発講座」を実施するもの。
- ・産地グループと実施する産地プロジェクトでは、産地組合等の複数企業が連携し、メッセージ性の高い商品づくりと販売戦略を実践することで、産地のブランド化を目指す。
- ・平成20年度は「美濃和紙産地プロジェクト」のほか、「つけち木工産地プロジェクト」、「飛騨春慶産地プロジェクト」の3事業を実施。

③県の関与

- ・県の補助金を財源に実施（平成21年度：14,117千円、平成20年度：20,976千円（決算額））
- ・県職員派遣2名

(2) アドバイザー派遣事業

①目的

- ・商品開発、デザイン、販路開拓、経営革新、生産技術等についての企業の課題解決に対応。

②概要

- ・新製品の開発や経営の向上等について、企業の要請に応じ、該当する分野の専門家を派遣し、助言等を行う。

<支援内容>

- (1)対象分野：生産・技術、販売管理、労務管理、経営革新、資金調達、販路開拓、新商品開発、情報化、電子商取引、体質改善等
- (2)費用負担：派遣するアドバイザーに支払う謝金及び旅費（謝金27千円及び旅費）の3分の2を支援。
- (3)派遣日数：5日以内（年間10日以内で継続派遣も可能）

③県の関与

- ・県の補助金を財源に実施（平成21年度：13,000千円、平成20年度：12,608千円（決算額））
- ・平成20年度は133社に対し派遣。

(デザインアドバイザーの派遣実績(H20)の事例)

企業名	業種	デザイナー名	派遣日数	実績
東海シーザ(株) <関市>	刃物	大西 芳典	H20.4～H20.7 (10回)	眉毛カットバサミのデザインアドバイス
MINOX <美濃加茂市>	プラスチック	井藤 隆志	H20.6～H21.3 (10回)	移乗用ボードと介在シートのデザインアドバイス

株カネコ小兵製陶所 <土岐市>	陶磁器	丹羽 哲男	H20.8～H21.3 (10回)	キッチン小物、カップ&ソーサー のパッケージデザイン
--------------------	-----	-------	----------------------	-------------------------------

(3) 海外デザイナー招聘事業

①目的

- ・異文化の感性を取り入れた市場性の高い商品開発を希望する中小企業を支援。

②概要

- ・世界有数のデザイン大学の卒業生を招き、異文化の感性を取り入れた市場性の高い商品開発を希望する企業に対して派遣する。

<支援内容>

(1)商品開発までのスケジュール

- ・企画・コンセプト立案
- ・海外デザイナーからのイメージパネル・スケッチ提案
- ・デザイン詳細検討のため海外デザイナー第1回目来日
- ・試作モデル製作
- ・最終モデル検討のため海外デザイナー第2回目来日
- ・商品化

(2)開発期間：約6ヶ月、海外デザイナーは2回来日。1回ごとの滞在期間は2週間程度

③県の関与

- ・県の補助金を財源に実施（平成21年度：4,576千円、平成20年度：2,320千円（決算額））
- ・平成20年度の招聘実績は1企業。

(海外デザイナー派遣実績(H20)事例)

企業名	デザイナー	商品	試作品数	来日日程
昭和製陶(株)	ダミアン・オサリバン *ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(イギリス)	業務用洋食器	11	①11/6～20 ②2/13～26

(4) 岐阜県中小企業市場開拓支援事業費助成金

①目的

- ・海外市場を視野に入れた新商品の開発を支援することにより、中小企業等による新たな市場展開を推進。

②概要

- ・新商品の開発にあたり、商品の企画、試作品の製作、さらに、当該試作品を展示会等において評価する経費を補助する。

③県の関与

- ・県の補助金（実質は国の地域活性化・経済危機臨時交付金）を財源に実施（平成21年度6月補正：60,000千円）
- ・新商品の企画を募集中（募集期間：平成21年8月13日～平成21年9月10日）